

明治大学

MBA, Meiji Business School

弊社代表の大久保昭平が 明治大学MBAの客員教授に就任

2020年より、弊社代表の大久保昭平が、明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科（通称、明治大学MBA）の客員教授に就任いたしました。

講義名は「Strategy for CFO and M&A Accounting」で、M&A関連の会計・ファイナンスの授業を担当します。企業向けのコンサルティングに加えて、今後は学生向けの会計教育を通して、会計業界、ひいては社会の発展に寄与できるよう精進いたします。

記事掲載のお知らせ



CPAコンパスが運営する『会計士の履歴書』の「特集 国際会計事務所」にて、弊社大久保(写真左)が掲載されました。

I-GLOCALの蕪木代表(写真中央)と、スターシアの黄代表(写真右)と共に、海外事業に興味のある専門家に対してエールを送りました。

最新のアジア諸国の貿易事業

目指すは貿易円滑化によるコスト削減 アジア諸国でみられる諸課題

2020年3月、JETROからアジアにおける貿易円滑化と現場の実態に関する分析が公表されました。同分析によると世界の関税率は低下傾向にあり、今後は貿易円滑化による手続面の効率化や透明性の向上などといった貿易コストの削減が重要になると指摘されています。

現在、物流効率性を計る国際的指標(LPI)において、アジア諸国のなかには、スコアが低い国が見受けられます。その背景として、フィリピンやラオスなど後発途上国では、ハードインフラの未整備、各種手続きなどの電子化が先進国より遅れていることが挙げられています。

一方、日系企業は取引に係る予見可能性を重視していることが本調査で明らかになっており、取引国の貿易円滑化措置の必要性の状況について事前に把握し、対応策を検討しておくことが重要であると考えられます。

セミナー・イベントのお知らせ

1月30日に山岡靖がトライコー(株)と弊社が共催する『アジア現地法人コンプライアンスの「いろは」～本社が知るべき現地法人運営のポイント』で、また2月5日、13日には、久野晃士が静岡県国際経済振興会が主催する『海外事業展開講座』(ベトナム会計税務パート)で講師を務めました。